内容を中心にしていくことにした。
（資料2参照）

○現職教育推進委員会
●現職教育部会から提案された計画案の審議
●研究組織の各部、各係から提出された計画案の審議
●研究・実践事項の全体的な企画・推進に関すること
●各部・各係の研究事項の連絡・調整に関すること
●現職教育研究協議会」の準備

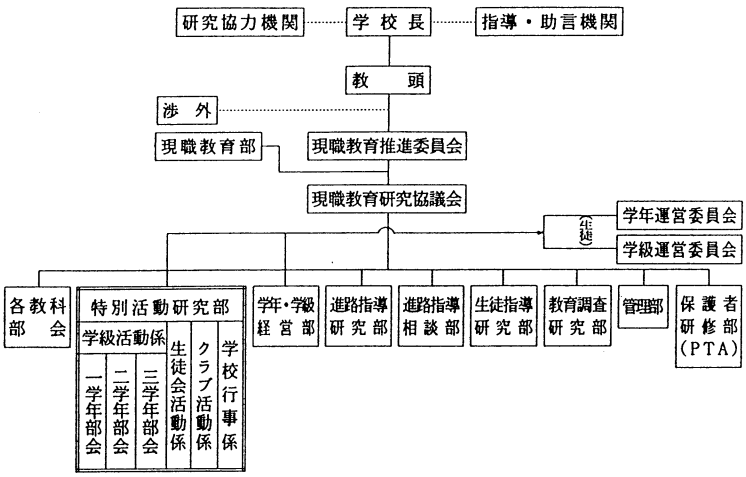
○現職教育研究協議会
●現職教育推進委員会で協議・決定した計画案の研究協議
（教職員全体による構成）

○現職教育部会
●研究計画のための資料の収集・整理
●研究計画の推進と研究のまとめ
●現職教育推進委員会、現職教育研究協議会、授業研究会（事前・事後）の運営

○特別活動研究部
●特別活動の全体計画の作成と学級活動係、生徒会活動係、クラブ活動係、学校行事係との連絡・調整と総括並びに研究協力機関との連絡と校内への伝達

○学級活動係並びに学年部会
●学級活動の特質をおさえ、生徒が意欲的に取り組める指導計画・活動計画の立てさせ方の工夫
●人間としての生き方をめざす進路指導の具体的方法の検討
●評価とその生かし方

資料2　組　織



資料3　研究のあゆみ〔主なもの〕

年次	年月日	研究内容等	研究の組織
第一年次	2．6．25	研究の基本的な方針の協議，推進委員会の発足	
	2．7．19	研修組織と研究内容(進路指導の理念と性格)	研究協議会
	9．13	授業研究の計画と学級活動指導案の形式の原案の協議	推進委員会
	9．20	同上　及び授業観察の視点	研究協議会
	10．	平成3年度学級活動年間指導計画作成の形式と原案作成（12末日まで）	学級活動係 各学年部会
	12．16	授業研究「冬休みを前に自分についてのまとめ」3年7組	事後研究会
	12．21	授業研究「さまざまな勉学の道」2年5組	事後研究会
	1．18	授業研究「働く人たちの仕事と考え」1年6組,「個性と進路」2年4組,「第3学期を迎えて」3年5組 授業，指導案，年間指導計画，学級活動の指導法等指導を受ける。 (福島県教育庁相双教育事務所指導主事　武内敏英先生)	特別活動校内研究会
	1．25	平成3年度学級活動年間指導計画 清書原稿執筆（2月末日まで）	各学年部会
第二年次	3．4．30	平成3年度現職教育研究計画の推進について	推進委員会
	5．1	同上	
	5．13	研究推進のため研究計画に研究の構想，研究の視点を加え，授業研究に共通理解をはかる。各部，各係の活動内容と推進の方法	推進委員会
	5．20	同上の内容の確認。県中教研主題研修会の報告並びに協議。「学習態度の形成をめざす実践」	研究協議会
	6．5	授業研究並びに授業公開の授業者についての協議	各学年部会
	6．7	同上の授業者と授業研究の日程の確認	推進委員会
	6．13	授業研究「働くことの目的と意義」2年6組	事後研究会
	7．11	同　「1学期の学級生活を反省しよう」1年1組	事後研究会
	7．12	同　「将来の生き方を考える」3年1組	事後研究会
	8．	研究のまとめ，研究大会の指導案の構想	
	8．9	授業公開の授業者の打合せ会	
	8．30	研究大会に向けての実行委員会の概要の説明	
	9．13	授業公開の授業者の打合せ会　授業研究の指導案検討会	各学年会
	9．30	授業研究「私たちの将来の希望」1年3組,「働くこと学ぶこと」2年4組,「進路先の調査」3年2組	事後研究会
	10．4	授業公開の授業者の打合せ会	